

「地域課題分野」（平成28年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
"多列砂州河道の特徴を踏まえた河道維持管理"に向けた検討	名城大学 溝口 敦子	A
<p><研究概要></p> <p>本研究は、網状流路特有の流路変動現象を調べ維持管理に生かすための知見収集を目的に行い、以下の結果を得た。大井川には大流量時に形成された多列砂州を基盤とした流路が形成されている。また、中小出水時に網状流路内の交互砂州が形成・発達することで流路変動が促進されており、この変動が樹木群消失にも関与する可能性がある。あわせて、河床変動の特徴に関与する河床材料の粒度特性の平面分布を明らかにするとともに、検討の一環で、最大粒径等粒径情報の画像解析による把握方法を提案した。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためなし</p>		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。